

介護の魅力発信プロジェクト

特定非営利活動法人 いきがいのLABO

〒904-2155 沖縄県沖縄市美原2丁目8-7

助成事業の概要

当法人では活動理念「ゆいまーるホスピスマインドをすべての人生のそばに」として活動しております。“ゆいまーるホスピスマインド”とは、解決が難しい苦しみを抱えていても、穏やか（笑顔）でいられるこころのありようや、沖縄に住む人が本来持っている、苦しむ誰かを思いやり関わる方法、助け合い精神や寄り添い方のことを意味します。

その中で『看取り』『尊厳』『口腔ケア』をテーマに年3回の講座を開催しました。

1. テーマ『看取り』

「あなたの強さはあなたの弱さから生まれる
世界一幸せになれる考え方～令和最強の地域学習会～」

開催日：令和6年11月16日（土）

場所：沖縄市社会福祉協議会

講師：めぐみ在宅クリニック（神奈川県）

院長 小澤竹俊氏

参加数：26名

2. テーマ『尊厳』

「尊厳×対話 ティグニティーセラピー」

開催日：令和6年11月17日（日）

場所：小規模多機能ホームいきがいのまちうるま

講師：一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会 業務執行理事 千田恵子氏

参加数：13名

3. テーマ『口腔ケア』

「最期まで口から食べる」

開催日：令和7年3月15日（土）

場所：沖縄産業支援センター

講師：沖縄県栄養士会理事 管理栄養士

山里瑠美氏

目白大学保健医療学部 作業療法学科准教授

佐藤彰紘氏

参加数：20名

事業の成果

11月16日に開催したセミナーでは、在宅医療の先駆者で名医の小澤先生を県外から招き講演会を行いました。講演会会場となった沖縄市社会福祉協議会の協力もあり、会場には多くの医療・福祉・介護に従事する関係者が参加し、地域での在宅医療やお看取り・終末期の患者さんへ、従事者として何ができるか、心の持ちようなど参加者で考えるきっかけとなりました。セミナー終了後のアンケートでは、「大変心に響いた。涙が出てしまい堪えるのに必死でした。支援をしている側が一番支援を必要としている。に私の苦悩に気づかされました」「苦しんでいる人との向き合いかたを学ばせていただいた」など、参加者からの声が寄せられました。

翌日、11月17日に開催したティグニティーセラピーセミナーでは、ティグニティーセラピーとは何か？から始まり、今までの人生を振り返り、大切な人に残しておきたい、覚えていてほしいことを手紙や記録として残しておくこと、終末期に

向けて自分へのメッセージを考えたり、深く学ぶことができました。

3月15日の「最期まで食べる」に関するセミナーでは、高齢者の食の問題をテーマに挙げ、栄養や食事形態についてや、食事時の姿勢や動作、嚥下について学びました。管理栄養士の山里先生からは、栄養指導訪問中での看取り期に向けたご利用者との関わりの事例提供や評価ツールを用いての学びを深める時間となりました。作業療法士の佐藤先生からは、看取り期に向かっていく中での、食事姿勢のとり方、食事形態の選択方法、食事用具のサンプル提示を学びました。参加者からは、日頃からの支援の中での難しさ、関わりの中での解決できない苦しさなどもグループワークを通して話を深める機会となり、解決できないこともあるがその中でご利用者と向き合うこと、支えを深めることの対話にもつながっていききました。

今年度の全3回の講演会を通して、当会が目指す「ゆいまーホスピスマインド」の浸透について、たとえ解決のできない苦しみに直面したときにも支え合うこと、ともに対話を続けることの大切さを参加者と共有し、実際の場面に持ち帰って頂ける機会となったと感じます。また、参加者からもこうした対話の機会があることで、自分自身の支援の振り返りにもなったと感想をいただくことができました。

■ 成果の広報、公表

11月16日のセミナーは沖縄市社会福祉協議会の後援のもと開催。当法人のSNS（フェイスブック、インスタグラム）での広報活動に加え、地域の自治会、各職専門機関へのチラシ配布と案内を行った。翌17日のセミナー会場が他セミナーと重なっていたことで急遽会場が変更となったが、臨機応変に対応し当日は問題なく開催できた。両

日のセミナー終了後に当法人SNSで報告を行った。

3月15日のセミナーでは、（一社）沖縄県歯科医師会、（一社）沖縄県作業療法士会、（公社）沖縄県栄養士会の後援のもと開催。会場周辺の介護福祉施設へ広報チラシの郵送案内（217通）、琉球新報紙面でのセミナー案内告知、SNS（フェイスブック、インスタグラム）での案内告知を行った。セミナー修了後、参加者へお礼メールとともにセミナーで使用したスライドデータを配布。事業所で活用していただくよう案内した。セミナー終了後に当法人SNSで報告を行った。

■ 今後の展開

当法人の活動理念である「ゆいまーホスピスマインドをすべての人生のそばに」を地域社会へ広げるために活動を継続します。今回は、テーマを『看取り』『尊厳』『口腔ケア』とし、主に介護・医療従事者を対象としましたが、今後は、ゆいまーホスピスマインド：住民一人ひとりが、近くで苦しんでいる人、困っている人に気づき、心を寄せる気持ち、すなわち「気づき力」を育むために、県民のみなさまが参加するイベントなどの企画もします。

1人1人の気づき、力を育むことは、超高齢社会において高齢者に寄り添ったサービスや活動をつくっていくにあたって、中心に置かれる心構えであると考えています。

今後は、地域のみなさまを対象としたイベント、引き続き介護・医療従事者を対象としたセミナー、学校など子どもたちへホスピスマインドを広げる活動を通して、介護の魅力を発信します。